

事例 30 訪日外国人旅行者の需要への対応に向けた「日本美 しの森 お薦め国有林」における多言語看板の整備

(四国森林管理局)



- 愛媛県 西条市（さいじょうし）老ノ川（おいのかわ）国有林
- 多言語看板の様子

四国森林管理局では、訪日外国人観光客を含む登山者の安全性や利便性の向上を図るため、標識類の多言語化を行っています。

令和元年度は、愛媛森林管理署管内の石鎚風景林にある登山道等に設置した説明看板や目的地を示す標識を英語や中国語等の多言語で表示しました。景観の説明については、アプリをダウンロードすることで看板に表示された二次元コードを読み取り、多言語で確認することができるようになっています。また、愛媛森林管理署や関係市町村、民間団体が参画する「石鎚山系連携事業協議会」では、利用者に分かりやすい標識となるよう標識のデザインを統一しました。

今後も、景観の説明や目的地等を分かりやすく表示した統一基準による多言語看板の整備に取り組むことで、訪日外国人観光客を含む利用者の拡大を図ることとしています。